

実務経験のある教員の授業科目一覧

講義名	単位数	開講年次	担当教員名	授業概要
看護学原論A	1	1年次前期	石原逸子 澁谷幸 新澤由佳	看護学の成り立ちと本質、人々の健康と取り組みへの支援、社会的観点から概観し、導入としての看護学の基礎的な理解を深める。 この授業の担当教員は、病院等における看護専門職の経験を有しているため、より実践的な観点からその役割・実践内容等を解説する教育として構成される科目である。
看護学原論B	1	1年次後期	石原逸子 澁谷幸 新澤由佳	実践の学としての看護学を、その成り立ちと本質、人々の健康と取り組みへの支援、社会的観点から理解し、学問的探究に必要な基礎的知識を学習する。 この授業の担当教員は、病院等における看護専門職の経験を有しているため、より実践的な観点からその活動や役割等を解説する教育として構成される科目である。
看護技術入門	1	1年次前期	柴田しおり 澁谷幸 玉田雅美 大澤歩 稲垣聡 新澤由佳 吉川あゆみ 児玉明子	看護行為の基本となる看護技術の概念とその特性について学ぶ。また、看護行為に共通する基本技術の方法と根拠について学習し、学習過程を通して相手をケアする姿勢を学ぶ。 この授業の担当教員は、病院等における看護専門職の経験を有しているため、より実践的な観点からその役割等を解説する教育として構成される科目である。
フィジカルアセスメント	1	1年次後期	澁谷幸 柴田しおり 玉田雅美 大澤歩 稲垣聡 新澤由佳 吉川あゆみ 児玉明子	人々の健康状態をアセスメントするためのフィジカルアセスメントの意義と重要性を理解し、基本的な知識と診察手技を習得する。 この授業の担当教員は、病院等における看護専門職の経験を有しているため、より実践的な観点からその実践や役割等を解説する教育として構成される科目である。
看護過程	1	1年次後期	澁谷幸 柴田しおり 玉田雅美 大澤歩 稲垣聡 新澤由佳 吉川あゆみ 児玉明子	健康上の問題や障害を持つ人の生活上のニーズや課題を明らかにし、その解決に向けた的確な援助を提供する為の看護援助のプロセスについて学び、看護が科学的な思考過程によって実践される活動であることが理解できる。 この授業の担当教員は、病院等における看護専門職の経験を有しているため、より実践的な観点からその実践等を解説する教育として構成される科目である。
基礎看護学技術演習Ⅱ	1	2年次前期	玉田雅美 柴田しおり 稲垣聡 新澤由佳 児玉明子	診療過程における看護の役割、検査・治療を受ける患者への看護について理解する。また、検査や治療を受ける患者の看護において必要となる基礎的看護技術を習得する。 この授業の担当教員は、病院等における看護専門職の経験を有しているため、より実践的な観点からその役割等を解説する教育として構成される科目である。
基礎看護学技術演習Ⅲ	2	2年次前期	澁谷幸 大澤歩 吉川あゆみ 児玉明子	人々の健康状態をアセスメントするために必要な基礎的技術を習得するとともに、科学的な看護実践の方法としての看護過程について学ぶ。 この授業の担当教員は、病院等における看護専門職の経験を有しているため、より実践的な観点からその実践や役割等を解説する教育として構成される科目である。

基礎看護学実習	3	2年次後期	石原逸子、林千冬 グレッグ美鈴、柴田しおり、澁谷幸、玉田雅美、大澤歩、稲垣聡、新澤由佳、吉川あゆみ、児玉明子、上野理恵、花井理紗	基礎看護学実習は、学生にとっては初めての実習です。したがって、看護の対象である患者さんやご家族に看護者として直接かわること、そのこと自体が学習となります。また、療養の場である病院環境や様々な職種の働き・かわりについても学ぶことができます。 この授業の担当教員は病院等における看護専門職の経験を有しているため、より実践的な観点からその役割等を解説する教育として構成される科目である。
基礎看護学実習 I	1	1年次前期	石原逸子、柴田しおり、澁谷幸、玉田雅美、大澤歩、稲垣聡、新澤由佳、吉川あゆみ、児玉明子、上野理恵	地域の人々の生活及び病院での療養生活について知る。さらに、看護師がどのような実践を行っているのかを知り、人々の生活環境と看護について考察する。 この授業の担当教員は、一般病院等における看護専門職の経験を有しているため、より実践的な観点からその役割等を解説する教育として構成される科目である。
ウイメンズヘルス看護学実習	2	3年次後期	高田昌代 嶋澤恭子 井上理絵 細川由美子 沼田富久美 比名朋子 矢野薫	リプロダクティブヘルス・ライツの視点から女性のライフコースにおける健康支援について学ぶ。特に、周産期における女性と子どもを中心とした家族の心身の変化、適応過程、ニーズを理解し、基本的な看護実践能力を養う。 この授業の担当教員は、産婦人科病棟や助産院等における助産師の経験を有しているため、より実践的な観点からその役割等を解説する教育として構成される科目である。
小児看護学実習	2	3年次後期から4年次前期	二宮啓子 岡永真由美 山本陽子 清水千香	小児の成長・発達および健康上の問題とそれに伴う生活の変化を、身体・心理・社会的な視点からとらえ、発達段階に応じた健康回復への看護を実践する能力を修得すると同時に、病院から家庭あるいは他施設への移行に伴って必要となる支援を提供する能力を修得する。 この授業の担当教員は、一般病院や子ども病院等における看護専門職の経験を有しているため、より実践的な観点からその役割等を解説する教育として構成される科目である。
周手術期クリティカルケア学実習	3	3年次後期から4年次前期	江川幸二 船木淳 平野通子 野崎亜矢子 高田大樹	周手術期における患者の病態、治療およびそれに伴う患者・家族の心理・社会的側面を理解し、状況の変化に応じて回復および適応への援助ができる能力を習得する。またクリティカルケアの場における生命維持のための看護のあり方、および患者の人権擁護と家族に対する支援を考慮した看護のあり方を学ぶ。 この授業の担当教員は、救急病院や一般病院等における看護専門職の経験を有しているため、より実践的な観点からその役割等を解説する教育として構成される科目である。
慢性病看護学実習	2	3年次後期から4年次前期	池田清子 小山富美子 高山良子 畑中あかね 長尾綾子 桑原京子	慢性病とともに生きる患者と家族を長期的な見通しから理解し、最期までその人らしい療養生活を送れるよう援助する。 この授業の担当教員は、一般病院等における看護専門職の経験を有しているため、より実践的な観点からその役割等を解説する教育として構成される科目である。
老年健康生活支援論	1	2年次前期	坪井桂子	老年期の身体的・精神的・社会的機能の特性やその生活を理解し、健やかに老い、穏やかな死を迎えるための援助方法を創出する基盤となる知識を修得する。 この授業の担当教員は、一般病院等における看護専門職の経験を有し、より実践的な観点からその役割等を解説する教育として構成される科目である。

老年療養生活支援論	1	3年次前期	服鳥景子 秋定真有 小池香織	<p>加齢に伴う老性変化および老年期特有の疾病や症状により日常生活に援助が必要となった高齢者とその家族への看護について理解する。</p> <p>この授業の担当教員は、高齢者が療養する場等における看護専門職の経験を有しており、また、現場の第一線で活躍する高齢者ケア施設の看護職等を招聘することで、高齢者ケアの実践をより具体的に学ぶ、実践的教育から構成される授業科目である。</p>
老年看護学実習	2	3年次後期から4年次前期	坪井桂子 服鳥景子 秋定真有 上瀬芙美代	<p>生活の場が移行し、療養が必要となった高齢者を包括的に理解し、その個人と家族に必要な看護を実践する能力を修得する。</p> <p>この授業の担当教員は、一般病院等における看護専門職の経験を有しているため、より実践的な観点からその役割等を解説する教育として構成される科目である。</p>
精神健康生活支援論	2	2年次前期	山岡由実 石田絵美子 坂口豊代	<p>精神看護の対象となる人を様々な側面から理解し、心の健康を保持増進するために必要な基本概念や理論、援助方法を学ぶ。また、ライフサイクルにおける心の健康問題について学び、現在の精神保健上の課題を検討する。さらに精神保健医療福祉をその歴史や法律、人権という視点から理解を深める。</p> <p>この授業の担当教員は、一般病院、精神科専門病院等における看護専門職の経験を有しており、また、現場の第一線で活躍するリエゾン精神看護専門看護師等を招聘することで、精神看護の実践をより具体的に学ぶ、実践的教育から構成される授業科目である。</p>
精神療養生活支援論	1	3年次前期	船越明子 石田絵美子 坂口豊代	<p>こころに病(精神障がい)を持つ人を統合的に理解し、必要な看護援助を提供する方法について実践的に学ぶ。</p> <p>この授業の担当教員は、一般病院、精神科専門病院等における看護専門職の経験を有しているため、より実践的な観点からその役割等を解説する教育として構成される科目である。</p>
精神看護学実習	2	3年次後期から4年次前期	船越明子 山岡由実 石田絵美子 坂口豊代	<p>心の病(精神障がい)を持つ対象者を統合的に理解し、その個人と家族に必要な看護を判断し、実践する能力を修得する。</p> <p>この授業の担当教員は、一般病院、精神科専門病院等における看護専門職の経験を有しているため、より実践的な観点からその役割等を解説する教育として構成される科目である。</p>
在宅看護概論	1	2年次後期	丸尾智美 片倉直子 宇多みどり	<p>在宅ケア・在宅医療・在宅看護にかかわる施策、制度を踏まえたうえで、それらの利用者と家族、また訪問看護を提供する機関に関することを学ぶ。今後、地域包括ケアシステムを進めていくうえで、病院、診療所および地域で働くすべての看護師が理解していなければならない基盤を教授する。</p> <p>この授業の担当教員は、(行政・訪問看護)等における看護専門職の経験を有しているため、より実践的な観点からその役割等を解説する教育として構成される科目である。</p>
在宅看護論	1	3年次前期	片倉直子 丸尾智美 宇多みどり 大瓦直子 多田真寿美 吉田幸文	<p>在宅看護概論およびこれまで学んだ領域別の治療・看護にもとづき、在宅看護場面における看護を応用的に展開できるように学ぶ。</p> <p>この授業の担当教員は、行政・訪問看護等における看護専門職の経験を有しており、また、現場の第一線で活躍する訪問看護認定看護師、作業療法士等を招聘することで、在宅ケアの実践をより具体的に学ぶ、実践的教育から構成される授業科目である。</p>
健康学習論	1	3年次前期	岩本里織 山下正	<p>公衆衛生看護における活動展開方法の一つである健康教育・健康学習に必要な理論や方法論を理解する。本授業は公衆衛生看護で対象とする世代や特定集団の特性に応じた、科学的根拠に基づいた健康教育・健康学習の企画・実施・評価の一連の過程を学び、健康教育・健康学習の企画・立案及びその実施を目指す。</p> <p>この授業の担当教員は、行政等における保健師の経験を有しているため、より実践的な観点からその役割等を解説する教育として構成される科目である。</p>

地域・在宅・訪問看護学実習	2	3年次後期から4年次前期	片倉直子 岩本里織 丸尾智実 波田弥生 宇多みどり 山下正 藤本優子 大瓦直子	地域包括支援センター、訪問看護ステーション、保健センターにおける実習を通して、下記の到達目標を達成できるように学ぶ。 この授業の担当教員は、行政・訪問看護等における看護師・保健師の経験を有しているため、より実践的な観点からその役割等を解説する教育として構成される科目である。
公衆衛生看護学実習Ⅰ	3	3年次後期から4年次前期	岩本里織 波田弥生 山下正 藤本優子	働く人々の生活や健康の状況と、事業場における労働衛生管理の実際を知り、看護職として働く人々を支援する能力を養う。 地域の健康課題と保健センターで取り組まれている保健事業や地域活動との関連について考察し、地域の人々の健康を支援する保健師の役割を理解する。 この授業の担当教員は、市町村等における保健師経験を有しているため、より実践的な観点からその役割等を解説する教育として構成される科目である。
公衆衛生看護学実習Ⅱ	2	4年次前期	岩本里織 波田弥生 山下正 藤本優子	公衆衛生看護学実習Ⅰにおいて理解した個人、家族、集団、地域の特徴や健康課題をさらに発展的に理解する。また、健康課題に応じた支援の方法を考え、支援を実施し評価できる能力を養う。 この授業の担当教員は、市町村等における保健師経験を有しているため、より実践的な観点からその役割等を解説する教育として構成される科目である。
看護管理学実習(編入)	4	3年次後期	林千冬 上野理恵 花井理紗	看護管理のしくみと機能を諸理論や概念と関連づけて把握し、看護実践の場において常にさまざまな管理活動が繰り返されていることを理解する。また、これらをとおして、看護職者が看護提供システムの構築と変革に取り組むことの重要性について理解する。 この授業の担当教員は、看護職能団体等における勤務経験を有しているため、より実践的な観点から看護におけるマネジメントの役割等を解説する教育として構成される科目である。
総合実習	3	4年次前期	看護系教員全員	既習の看護学実習をとおして学んだ内容をふまえて実際の看護チームの中でケアを実践するとともに、看護管理者のマネジメント活動を理解することをとおして、専門職業人としての責任の自覚と倫理観に基づく基本的な看護実践能力を習得する。 この授業の担当教員は、一般病院、市町村、訪問看護、助産院等における看護専門職の経験を有しているため、より実践的な観点からその役割等を解説する教育として構成される科目である。
家族看護学概論	1	3年次前期	高山良子	家族看護学の考え方や現代家族を理解するための家族システム、家族機能、家族発達、家族関係等に関する考え方を学習する。その上で、家族を対象としたアセスメントと援助に有用な理論や考え方の学習を深めることを目的とする。 この授業の担当教員は、家族看護等における看護専門職の経験を有しているため、より実践的な観点からその役割等を解説する教育として構成される科目である。
家族看護学支援論	1	4年次前期	高山良子	家族看護における看護師の役割を明らかにするとともに、家族看護学概論で学習したアセスメントや援助方法に関する理論や考え方を活用し、臨床の場や在宅で出会う様々な困難に直面している家族への援助方法を学習することを目的とする。また、学生が家族への意図的な援助関係が構築できるようになることを目標とします。 この授業の担当教員は、家族看護等における看護専門職の経験を有しているため、より実践的な観点からその役割等を解説する教育として構成される科目である。

終末期ケア論	1	3年次前期	片倉直子 坪井桂子 服鳥景子 岡永真由美 高山良子	<p>人の一生は「誕生から死まで」のライフサイクルをもっている。人生の終末の段階は一般的には老年期と理解されているが、発達段階のすべての段階で「死」を迎える可能性がある。あらゆる発達段階やあらゆる療養の場(病院、施設、在宅など)における「死」に向けての援助、言い換えるならば終末期におけるよりよい「生」をどのように支援するかについて考え、終末期ケアの実践能力の基礎を開発することを目的とします。</p> <p>この授業の担当教員は、終末期ケア等における看護専門職の経験を有しており、また、現場の第一線で活躍する専門看護師等を招聘することで、終末期ケアの実践をより具体的に学ぶ、実践的教育から構成される授業科目である。</p>
多職種連携 I	1	1年次後期	片倉直子 澁谷幸 丸尾智美 宇多みどり 大瓦直子	<p>卒業時に地域の保健医療福祉領域におけるニーズを的確に把握し、多職種連携協働による療養者・家族・コミュニティ中心のケアに寄与できるように、各職種の業務や役割、多職種連携の方法について理解し、実践できる力を養うことを目的とする。</p> <p>この授業の担当教員は、病院・行政・訪問看護等における看護専門職の経験を有しており、また、他大学教員(現場で保険・医療・福祉現場で活躍の経験を持つ)と連携することで、多職種連携の実践をより具体的に学ぶ、実践的教育として構成されている授業科目である。</p>
計	48			